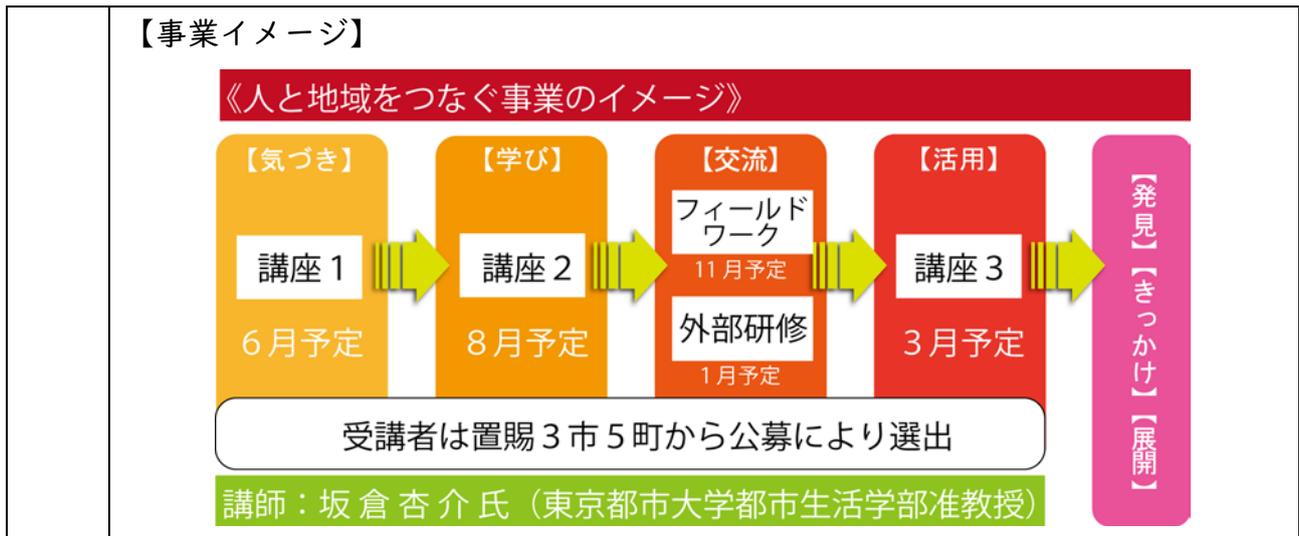


令和 2 年度広域的な人財育成事業 実績報告書

おきたま地域づくり～人と地域をつなぐ事業～

事業概要

趣旨 目的	<p>【趣 旨】</p> <p>置賜地域においても、各自治体で課題となっている少子高齢化や人口減少、地域コミュニティの衰退等の地域活力の低下を招く状態が続いている。</p> <p>置賜地域が将来にわたり地域活力を持続・発展させていくためには、置賜地域にある地域資源を活用した地域全体の活性化に取り組むことが必要であり、地域住民一人ひとりの地域へのかかわりが地域活力の向上につながり地域全体に広がっていくことが何よりも大切になってくる。</p> <p>そのため、本組合では、第 5 次置賜広域行政事務組合ふるさと市町村圏計画（計画期間平成 25 年度～令和 4 年度）に基づき、広域行政ならではの広域的な枠組みでの人財育成事業を計画期間内において長期的な視点で推進する。</p> <p>【目 的】</p> <p>本組合の人財育成事業を通じて、地域住民一人ひとりが地域づくり活動の場で活躍し地元地域へ還元し、交流人口の拡大につなげる。</p> <p>また、地域づくり活動に関わることで地域に対する愛着と誇りを醸成し、自分たちが住む地域活力を持続・発展させるのは、自分たち次第だという意識を誘発することを目的とする。</p>
概要	<p>【事業内容】</p> <p>本組合の人財育成事業は、平成 28 年度を開始年度として令和 4 年度まで長期的な視線で実施することを予定しており、地域づくりに関わる人財に対する「きっかけづくり」を事業の骨子とする。</p> <p>事業内容としては、参加した人への地域づくりに対する「気づき」や「きっかけ」を与える場としての役割が主となるため、講義や研修といった「OFF-JT」を中心に事業を進め、最終的には自ら意欲とやる気を持ち自己研鑽に努める「自己啓発」を促すことを目指した事業を展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①講座を通じて様々な成功事例や地域づくりに関する知識を学ぶ。 ②地域づくりに関する様々な研修への参加（地域活性化センター主催の研修等）を通じて日本各地の地域や人財との相互交流により見識を深める。 ③フィールドワークや演習を通じて実体験。 ④振り返りにより事業に参加しての成果と今後の目標を確認。 ⑤次年度以降の自発的な活動につなげていくもの。



【関係人口創出事業】

本事業では、フィールドワークを通じて偶然の出会いと交流から新たなつながりが生まれ様々な取り組みが始まっている。これは計画的な成果というよりも、置賜地域に暮らす住民と首都圏に暮らす住民の主体的な交流が創出されたことで起きた相乗的な効果と言えることから、令和2年度に「関係人口創出事業」に取り組むことで、地域と多様に関わる関係人口を創出し、新たな価値を創発する地域づくりの担い手拡大につながると考え、通常の事業と併せて、（一財）地域活性化センターの移住・定住・交流推進支援事業として、助成金の採択を受け、関係人口創出事業としても、事業を実施した。

事業の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症により、当初予定していた事業を見直し、人の移動を減らしながらも、オンラインを活用して、新しい関係人口の創出や裾野拡大を目指す事業を実施した。

なお、5期生の講座及びフィールドワークは次年度に延期し実施する。

	実施事業	実施月日
実施事業	受講者交流事業	令和2年8月30日
	オンライン交流事業①	令和2年10月4日
	オンライン交流事業②	令和3年2月23日
	コンセプトブック作成事業	令和2年10月～令和3年2月
	定期的な交流の場づくり事業	令和2年9月～令和3年3月

講師

坂倉 杏介 氏（東京都市大学都市生活学部准教授）

多様な主体の相互作用によってつながりと活動を創出する「コミュニティ・プラットフォーム」という視点から、コミュニティの形成過程やワークショップの体験デザインを実践的に研究。地域コミュニティの拠点「芝の家」や大学地域連携の人材育成事業「ご近所イノベーション学校」の運営などを通じて港区のコミュニティ活性化事業を手がけるほか、地域づくりや企業におけるコミュニティ形成プロジェクトに多く携わる。

受講者名簿 [第5期] 計7名

米沢市：男性2名、女性1名、長井市：女性1名、川西町：女性2名、
小国町：男性1名

※講座及びフィールドワークは、令和3年度6期生と併せて実施する。

事業支援

団体名	所属・職名	氏名
(一財)地域活性化センター	人材育成プロデューサー	前神有里

年度別受講者数

年度	性別	米沢市	長井市	南陽市	高島町	川西町	白鷹町	飯豊町	小国町	計	合計
H28	男性	1				2				3	12名
	女性	5	1				1	2		9	
H29	男性	2		2						4	13名
	女性	6	1		2					9	
H30	男性	1	2				1			4	15名
	女性	4	1	1	1	4				11	
R元	男性	3						1		4	12名
	女性	6	1	1						8	
R2	男性	2							1	3	7名
	女性	1	1			2				4	
計	男性	9	2	2		2	1	1	1	18	59名
	女性	22	5	2	3	6	1	2		41	

事業内容

受講者交流事業

項目	内容
参加者	人と地域をつなぐ事業受講者、東京都市大学コミュニティマネジメント研究室学生
月日	令和2年8月30日(日)
場所	米沢市「スタジオ八百萬」、オンライン配信
内容	人と地域をつなぐ事業のこれまでを振り返り、これからのことを考えるため、坂倉杏介氏や前神有里氏の講話のあと、会場に集まった参加者、オンラインで参加した参加者同士で対話を行った。



オンライン交流事業「ゆるやかなつながりを続けていくために」

項目	内容
参加者	人と地域をつなぐ事業受講者11名、ご近所イノベータ養成講座修了生7名、おやまちプロジェクト1名、東京都市大学コミュニティマネジメント研究室学生6名
月 日	令和2年10月4日(日)
場 所	米沢市「スタジオ八百萬」、オンライン配信
内 容	<p>これまで、「ゆるやかなつながり」を続けてきた、港区芝地区総合支所が運営する「芝の家」のスタッフ、「ご近所イノベータ養成講座」の修了生、坂倉杏介研究室の学生、おやまちプロジェクトのみなさんと、新型コロナウイルス感染症により、東京都との往来が難しい中でも、「ゆるやかなつながり」を続けていくため、これまでを振り返り、これからのつながりを考え、関係人口の持続と創出につなげるため、オンライン交流事業を実施した。</p> <p>参加者全員のチェックイン、坂倉杏介准教授の話のあと、受講者間の縦のつながりから始めた「おさがり子供服交換会」、4期生の同期などに取り組む「東光プロジェクト」、24時間トークカフェ置賜をきっかけに始まった「種の交流」について、「芝の家」の今とこれから、「おやまちプロジェクト」の今とこれからについて話題提供があり、参加者全員で共有した。</p> <p>往来が難しい中でも動きを止めずに、様々な活動に取り組んでいることを知り、これからもゆるやかなつながり続けていくことを共有できた。</p>
写 真	

オンライン交流事業2「置賜プロジェクトオンライン」

項目	内容
参加者	人と地域をつなぐ事業受講者9名、東京都市大学コミュニティマネジメント研究室学生20名、ご近所イノベータ養成講座修了生2名、おやまちプロジェクト1名
月 日	令和3年2月23日（日）
場 所	米沢市「スタジオ八百萬」、オンライン配信
内 容	<p>これまで、人と地域をつなぐ事業と合同事業を実施してきたコミュニティマネジメント研究室の学生や卒業生を中心に、港区芝地区総合支所が運営する芝の家のスタッフ、おやまちプロジェクトのみなさんと、新型コロナウイルス感染症により、東京都との往来が難しい中でも、「ゆるやかなつながり」を続け、関係人口の持続と創出につなげるため、オンライン交流事業を次の内容により実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインを活用したアイスブレイク、参加者全員のチェックイン ・本事業をテーマに卒業研究を行った学生の発表を聞き参加者間で共有 ・令和元年度合同事業「信夫町ガーデンフェスティバル」を、スタジオ八百萬の代表、町内会長や住民の方といっしょに振り返る。 ・東光の酒蔵からオンライン中継と東光の新しい取組についての話（4期生） ・参加者が感想を話す時間（おやまちプロジェクト代表） ・坂倉杏介准教授、前神有里さんの話 <p>人と地域をつなぐ事業とコミュニティマネジメント研究室とのこれまでを振り返り、参加者全員で共有できたことで、今後の取り組みにもつながる交流事業となった。</p>
写 真	 

コンセプトブック「わたしをみつける ゆるやかなつながり」作成事業

項目	内容
作 成	令和2年10月～令和3年2月
概 要	人と地域をつなぐ事業のコンセプトをまとめ、地域住民に事業内容を伝えるだけでなく、これまでの交流も含めて、関係人口の創出にもつながるコンセプトブックを作成した。

<p>内 容</p>	 <p>人と人が出会い、地域とつながり、「わたしをみつける ゆるやかなつながり」は、かけがえのないものとなりました。</p> <p>つづいて...</p> <p>通員 ボランティアのみなさん、「ゆるやかなつながり」の開催から、「つづいて...」まで、おかげさまで開催しています。</p> <p>私のやりたいこと×社会に役立てたいこと 私のやりたいことと、社会に役立てたいことを、お互いに話し合ったり、一緒に考えたりすることで、自分たちのやりたいことを実現できるかもしれません。</p> <p>スタジオ八百万 「人と地域をつなぐ事業」の開催から、「つづいて...」まで、おかげさまで開催しています。今後も、おかげさまで開催していきます。</p> <p>開催された受講者と講師からのコメント 受講生のみなさん、受講期間中にいろいろな出会いがありました。これからの未来、非営利活動に関心がある人たちが、自分たちのやりたいことを実現できることを願っています。</p> <p>講師のみなさん、受講期間中にいろいろな出会いがありました。これからの未来、非営利活動に関心がある人たちが、自分たちのやりたいことを実現できることを願っています。</p> <p>「人と地域をつなぐ事業」の開催から、「つづいて...」まで、おかげさまで開催しています。今後も、おかげさまで開催していきます。</p> <p>この事業を通して、多くの出会いがありました。これからの未来、非営利活動に関心がある人たちが、自分たちのやりたいことを実現できることを願っています。</p> <p>「つづいて...」って、みんなのつながりをもっと広げたいなって思っています。</p> <p>「つづいて...」って、みんなのつながりをもっと広げたいなって思っています。</p> <p>「つづいて...」って、みんなのつながりをもっと広げたいなって思っています。</p> <p>「つづいて...」って、みんなのつながりをもっと広げたいなって思っています。</p>
------------	--

定期的な交流の場づくり事業

項目	内容
参加者	延べ 40 名
月 日	令和 2 年 9 月～令和 3 年 3 月
場 所	米沢市「スタジオ八百万」、オンライン配信
内 容	<p>人と地域をつなぐ事業の受講者、東京都市大学坂倉杏介研究室の学生と卒業生のほか、東京都港区芝地区ご近所イノベータ養成講座の受講者、東京都世田谷区尾山台おやまちプロジェクトに関わる方が定期的にオンラインで交流する場を立ち上げ実施した。毎回の参加者は多くないが、持続的に交流できる場となった。</p>
写 真	 

収支決算書

収入 (単位：円)

項目	金額	備考
雑入	1,747,000	移住・定住・交流推進事業助成金
基金繰入金	50,480	ふるさと市町村圏基金運用益
合計	1,797,480	

支出 (単位：円)

区分	項目	金額	備考
報償費	講師謝礼	460,000	
需用費	消耗品費	228,800	
	印刷製本費	550,000	コンセプトブック作成費
役務費	手数料	231,000	オンライン配信手数料
使用料	会場使用料	142,000	
備品購入費	備品購入費	185,680	オンライン配信備品購入
	合計	1,797,480	

差引 (単位：円)

収入	1,797,480	
支出	1,797,480	
差引	0	

おわりに

本組合では、平成 28 年度からふるさと市町村圏計画の広域活動計画に基づき、広域的人材の育成活用事業として、地域づくりに対する「気づき」や「きっかけ」を与える場として、「おきたま地域づくり～人と地域をつなぐ事業～」を実施している。

これまでの事業では、坂倉杏介氏の講義、受講者同士のつながり、芝の家等を視察した際の港区の方との交流などを実施することで、地域づくりに対する「気づき」や「きっかけ」だけでなく、受講者の自発的な取組みに繋がったことが大きな成果となっている。

5 年目となった今年度は、新型コロナウイルス感染症により、通常の講座とフィールドワークを延期し、本事業がこれまで取り組んできた偶然の出会いと交流から新たなつながりが生まれ様々な取組みが始まっていることを関係人口の創出という視点で捉え、「関係人口創出事業」に取り組む、置賜地域と多様に関わる関係人口を創出し、新たな価値を創発する地域づくりの担い手拡大につながると考え、(一財)地域活性化センターの移住・定住・交流推進支援事業として、助成金の採択を受け、関係人口創出事業として、事業を実施した。

新型コロナウイルス感染症により、当初予定していた事業を見直し、人の移動を減らしながらも、オンラインを活用して、新しい関係人口の創出や裾野拡大を目指す事業を実施することができた。

これからも令和 4 年度まで、引き続き事業を実施するなかで、「気づき」や「きっかけ」を与える場であるとともに、受講者と共に、試行錯誤しながら置賜地域で生き活きと暮らしていくための方法を考えていく事業としていきながら、港区芝地区ご近所イノベータ学校や世田谷区尾山台おやまちプロジェクトとの関係人口を持続し、さらに創出していく事業としても進めていきたい。

最後に、講師の坂倉杏介氏、事業の支援をいただいた前神有里氏、東京都市大学コミュニティマネジメント研究室の学生の皆様、人と地域をつなぐ事業に関わっていただいた皆様に、深く感謝申し上げ、報告書の結びとする。